

子宮頸部嚢胞性腫瘍を疑い手術した症例の後方視的解析

1. 研究の対象

2010年1月1日以降に子宮頸部嚢胞性病変（LEGH: lobular endocervical glandular hyperplasia, MDA: minimal deviation adenocarcinoma）に対して手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究期間：研究機関の長の許可日～2020年12月31日

子宮頸部嚢胞性病変と診断された手術症例について診断精度を中心とした後方視的実態を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

上記症例の診療録（病理結果や他の臨床検査結果を含む）から、患者情報（年齢・経妊経産・既往歴・合併症など）および診断（血液検査・画像検査・病理検査・手術所見など）・治療情報（手術・化学療法・放射線療法・その他治療の内容・成績）を抽出し、解析します。

4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 助教 小林 栄仁

共同研究機関：大阪婦人科腫瘍研究会 Gynecologic Oncology Group of Osaka

<http://osaka-gogo.com/index.html>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒580-0023 松原市南新町3丁目3番28号

Tel: 0723-33-2100

研究責任者：阪南中央病院 産婦人科 山根 誠一